

ニュース松原
情報ひろば
保険年金
健康
環境権
環境人
消費生活
税
相談
子育て
安全
福祉
その他
各種相談
子育て応援コーナー
歴史ウォーク
健しほくす
講座イベント
スポーツ
図書館
地域交流
みんなの広場
イベントガイド



▲町会主催による防災訓練

町会には、約260の町会がありますが、加入世帯の割合は約70%という状況で、年々その割合は減少しています(平成25年8月末現在)。

町会は、それぞれの見守り活動、

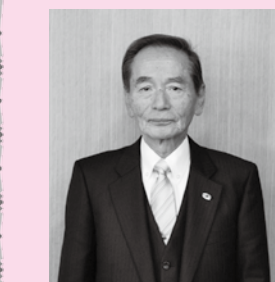


▲青色防犯パトロール活動

青色防犯パトロールを行うなど、犯罪抑止に力を入れていく町会もあります。また、阪神淡路大震災や東日本大震災でも地域住民による自主的な救助・救護活動、声の掛け合いが被害の拡大を防いだように、いつ発生するかわからない大地震に対して、地域ぐるみで防災訓練に取り組み、緊急時に対する備えと連携強化に努める町会もあります。



▲子どもの見守り活動



「地域の情報共有が安心安全なまちへの課題」

松原市セーフコミュニティ推進協議会副会長・町会連合会会長 岡田敏彰さん

第1回目は、地域住民相互の連携や交流を図り、福祉や環境、防災、防犯など安心・安全な生活全般に必要な役割を担う町会についてご紹介します。

地域で自主的に組織・運営される団体で、加入自体は、義務ではなく皆さんの自主性に任されています。さまざまな理由で加入されていない人もいますが、生活していく以上、町会が行う活動から何らかの恩恵を受けていることは確かです。

地域の安心・安全のために、また、魅力ある地域社会をつくるために、住民組織としての基礎である町会の役割は大きく、セーフコミュニティを支える基盤となっています。皆さんも、地域の安心・安全な生活を陰ながら支える町会の活動について考え、参加してみてください。

現在、地域福祉計画の策定に関わっていますが、市民の皆さんに行ったアンケートの中でも、火災や自然災害など緊急時の逃げ遅れに対して不安を感じている人が多くおられました。地域には高齢者世帯の見守りなどを行い、火災や緊急時に備える団体もありますが、全てをカバーするところまでできている地域は少ないのではないのでしょうか。

今後、町会としましては、助けが必要な世帯を近隣住民でいかにして見守り、助け合うのが大きな問題になるかと思えます。そういった地域の情報共有ができる体制を整え、地域住民の安心・安全につなげることができればと考えています。

また、町会の活動は、地域住民のボランティアで支えられています。子どもの喜ぶ顔が見たい、人のためになる活動に携わりたいという方のご参加をお待ちしています。

町会の活動について知ろう

セーフコミュニティは、一つの組織が推進するのではなく、多くの団体で協働して取り組んでいくことが求められます。また、そうすることで一つの取り組みの効果が大きくなります。今月号から、セーフコミュニティ活動を支える多くの団体を紹介し、市民一人ひとりの参加に結び付けていきたいと思います。

セーフコミュニティ活動を支える団体を紹介



「SC マンスリーまつばら」は、世界基準の安心・安全なまちづくりセーフコミュニティについて知っていただくための連載コーナーです。
▼問合せ 市民安全課



▲町会設置の防犯灯